

柏原平和池水害

「梅雨の終わりのころでした。前の日のカンカン照りがうそのように、この日は、亀岡は大雨になりました。」

これは、平成24年の4年生が作った柏原平和池水害の紙芝居の一節です。昭和26年7月11日、夜中から降り出した雨は勢いを増し、午前8時半頃にはバケツの水をひっくり返したような豪雨となりました。年谷川の水位もみるみる上がり、堤防を越えた泥水が柏原のまちに流れ込みました。9時40分、上流にあった2年前に完成したばかりの平和池ダムが決壊、下流に流れ出した濁流は、10時頃、鉄砲水となって柏原の町を飲み込みました。この水害で幼い子ども25名を含む75名もの尊い命が奪われました。

本校では、毎年4年生がこの柏原平和池水害の学習をします。継続して講師をお世話になっている中尾様、柏原区長の中川様にお話をいただいたり、柏原公民館、慰霊塔のフィールドワークや当時の写真・資料の閲覧を行ったりと総合的な学習の時間を使って学習を進めています。そして何より大切にしていることは、災害から命を守るためにはどうすればいいか、自分たちで考えるという学習です。新聞に考えをまとめたり、参観日にグループで発表したりと様々な方法で学びを深めてきました。冒頭で紹介した紙芝居は、当時の4年生が、災害の怖さや命の大切さを伝えていきたいと制作したものです。また、令和元年度には、平和池ダムと同じように決壊したダム底から見つかった「奇跡のあじさい」を校門横フェンスに沿って植えるとともに、全校に名前を募集し「みらい」と名付けました。「みらい」という名前には子どもたちの様々な思いが込められています。

今年は、柏原平和池水害から70年目を迎えます。過去の出来事として捉えるのではなく、今を生きる子どもたちに、災害から命を守るためにできることは何か、命や防災に真剣に向き合ってほしい、そしてみらいへと語り継いでほしいと願います。

本校の「奇跡のあじさい みらい」も7月11日頃には満開を迎えそうです。水害で犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、今一度ご家庭においても防災について考える日としていただきたいと思います。

校長 平井 眞理子

「奇跡のあじさい」
 東日本大震災の際、ダムの決壊という災害に見舞われた須賀川市長沼地区の農業用ダム「藤沼湖」。犠牲者が出るなど、大きな被害をもたらしましたが、被災から2年後、湖底に群生するヤマアジサイの株が発見され、多くの方を勇気づけたそうです。そのあじさいを譲り受けました。



7月の予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	木	登校指導 国語大会	12	月	ベルマーク強化週間 こころの相談週間 本の読み聞かせ放送
2	金	フッ化物洗口 算数大会	13	火	短縮6校時【14:40】 地域別児童会(6校時) 「こども110番のいえ」確認下校(地域下校)
3	土		14	水	短縮4校時【13:10】 個人懇談①
4	日		15	木	短縮4校時【13:10】 個人懇談②
5	月		16	金	フッ化物洗口 給食最終日 短縮4校時【13:10】 個人懇談③
6	火	クラブ	17	土	
7	水	5年生野外学習(1日目) 本の読み聞かせ放送	18	日	
8	木	5年生野外学習(2日目)	19	月	短縮4校時【12:20】 個人懇談④ 大掃除
9	金	学校諸費振替日 フッ化物洗口	20	火	終業式 短縮3校時【11:30】
10	土		夏季休業：7月21日(水)～8月29日(日)		
11	日				

※行事につきましては、変更されることがあります。変更の場合は、学校からのお便りや学年通信などでお知らせいたしますので、ご確認ください。